



東京都港区浜松町二丁目3番8号
WTC annex 7階
株式会社LTTバイオフーマ

News & Information

2026/9/15

〔国際学会での当社 CEO・水島徹による講演のお知らせ〕

当社は、オキサリプラチンによる CIPN（化学療法誘発性末梢神経障害）を対象疾患とした PC-SOD の第Ⅲ相臨床試験を進めておりますが、この第Ⅲ相臨床試験を含めた PC-SOD のこれまでの開発経緯と今後の展望について、当社 CEO・水島徹が下記のとおり国際学会にて講演いたしましたのでご報告いたします。

講演日：2026 年 9 月 9 日（水）

学会名：22nd International Pharmaceutical Technology Symposium (IPTS) 2026

場所：Bilkent Hotel Convention Center（アンカラ市、トルコ共和国）

演題：Development of Lecithinized Superoxide Dismutase for Oxaliplatin-induced Peripheral Neuropathy

本学会は、1982 年以来 2 年ごとに開催されてきた製剤技術（ドラッグデリバリーシステム（DDS）など）に関する伝統ある国際学会であり今回が 22 回目になります。今回のメインテーマは「イノベーションの岐路に立つ製薬技術：AI、ナノテクノロジー、そしてその先」です。当社独自の DDS 技術であるレシチン化技術と、それを利用した薬(PC-SOD)が CIPN に対する世界初の薬として第Ⅲ相臨床試験まで進んでいることが評価され、講演の機会が与えられました。

この講演では、レシチン化のメリットとそのメカニズム、CIPN に関する基礎研究や臨床試験の概要、PC-SOD の今後の開発戦略などについて発表しました。参加者は、学术界、産業界、規制当局、および大学院生と多岐に亘っていました。講演後には、PC-SOD の体内での代謝、PC-SOD の静脈内投与以外の投与ルートの可能性、SOD 以外のタンパク質へのレシチン化技術の応用などに関して多くの質問をいただきました。また、アカデミア発の医薬品を第Ⅲ相臨床試験まで進めていることに敬意が寄せられました。今後も PC-SOD の周知とビジネス展開のためにこのような発表を積極的に行っていきたいと考えております。



以上